

シンガポールでの石川県プロモーションについて

シンガポールガーデンズバイザベイ「さくら祭り」への石川県ブース出展について

シンガポールのシンボルの一つでもある巨大な植物園「ガーデンズ バイ ザ ベイ」で開催されたさくら祭りに石川県ブースを出展しました。このさくら祭りは2016年から毎年3月に開催されているもので、今年はハローキティとコラボし、日本の風景を再現すべく鳥居や丹頂鶴、人力車等のディスプレイが展示されました。シンガポールでは、ガーデンズバイザベイでしか桜を見ることができないため、例年は入場チケットを購入するために行列ができる人気イベントです。今年はコロナ禍ということもあり、事前予約制で、時間毎に入場人数の規制がかかっており、入場時間前には入場を心待ちにする人々で行列ができていました。また、来場者は桜やハローキティ、人力車を背景に様々なポーズで写真撮影をしていました。

週末には、物販ブースに併設されたステージで、日本人会民謡クラブによる盆踊りや和太鼓グループによる演舞などの文化発信パフォーマンスによって賑わいを増し、石川県ブースにも切れ間なくお客様にご来店いただき、オープン初日で売り切れ商品が出るなど、大変な盛況ぶりでした。中には、高島屋にあるアンテナショップでリピート購入してくれていたお客様も来店され、偶然にも再会することができ嬉しく思いました。

また、今回、さくら祭りに石川県ブースを出展した経緯ですが、在シンガポール日本国大使館ジャパנקリエイティブセンターの方が高島屋のアンテナショップへお越しになり、「魅力ある商品を揃え、頑張っている石川県を是非、我々も応援したい」とお声かけいただいたことが発端となりました。このようなご縁を大切にしながら石川県のPRできる場面を増やしていきたいと考えています。



日本人会「茜」レストランでの「お花見いしかわ百万石フェア」の開催について

シンガポール日本人会内にある日本食レストラン茜において、3月14日（日）から3月末まで「お花見いしかわ百万石フェア」を開催しました。石川県の食材を使用した季節の前菜やお刺身、食後に提供される桜をかたどった石川県直送の上生菓子と加賀棒茶はまさに石川県の花見をイメージするにふさわしいものでした。

先月の商工いしかわで掲載した「NOTO ディナー」は、シンガポール旅行会社のVIP顧客を対象とし、石川県で修行したシェフが調味料にまでこだわり抜いて能登の料理を再現する完全予約制の限定ディナーで、一般来店者の方は注文できないコースでしたが、今回の「お花見いしかわ百万石フェア」は常時注文可能であり、より多くの方に石川の春を感じてもらうためのメニューとなっております。

また、茜レストランでは、九谷焼や山中漆器なども使用いただくなど、石川県の伝統的工芸品のPRも行なっております。（写真に写っているマーライオンの箸置きと上生菓子の豆皿はシンガポールカスタムの九谷焼で、当地で非常に人気の商品です。）

ガーデンズバイザベイでは商品販売を、茜ではレストランメニューの提供をするなど、多方面で石川県の春をPRしてまいります。



シンガポール石川県人会長の交代

シンガポール石川県人会は、シンガポールに居住する石川県出身者及びその家族並びに石川県にゆかりのある方々が互いの交流や親睦を深めることにより、石川県とシンガポールの経済や文化などの発展向上に寄与することを目的として設置され、現在、約 70 名の会員が在籍しております。

例年は年に数回県人会を開催し相互に懇親を図っていますが、今年度については、新型コロナウイルス感染症に対する規制により、年度当初は人に会うことすらできず、今なお、8 名を超える人数での飲食は禁止されていることから、県人会の開催ができない状況が続いています。こうした中、県人会長をはじめとする役員が異動により帰国されることから、西田会長の後任として、I-O&YT の末岡氏が新たに会長に就任しました。このような状況下なので帰任される方の送別することは叶いませんでしたが、帰国後のご健勝とさらなるご活躍をお祈り申し上げます。シンガポールでは、末岡新会長及び新役員体制で、石川県人会でのさらなる交流を図り、引き続き石川縣を盛り上げてまいりたいと考えております。